

## 平成26年度の年間の活動

### 受賞を契機に新たに取り組んでいること

住まいのまちなみ賞を受賞したことが、阿見町の広報に掲載されたり、積極的に自治会の回覧に広報したことにより、どちらかと言えば地味なボランティア活動が住民相互にインパクトを与えたのではないかと考えております。

十数万円しか予算をもたない当団体が、環境維持活動にいくら良い計画を提案しても、実施可能なものは自ずと限られてしまいます。

このことから、受賞に伴い調査検討経費を3年間戴けることは当団体にとって大変勇気づけられるものでした。初年度に計画立案した事業が無理のない、継続可能なものか等の検証を行い、2年目にあたる今年度はもう少し焦点を絞り、貴財団からの経費補助が終わった後もスムーズに懸案事項が継続されていけるよう検討し、実施いたしました。

#### 具体的な活動内容

#### 1. 公園内の池に発生する藻の防止と清掃作業の軽減対策

昨年度は茨城県環境科学センターにおいて、水の性質や藻の発生原因について学びました。本年度は藻を除去する水生生物、植物について学び来年度への総合的対処策へと結びつける予定です。

#### 1) 国立科学博物館筑波実験植物園の視察

19名が参加し実験植物園を訪問。著名な水生植物・藻の研究者田中法生教授に我々の実情・問題点を説明し、氏から発生原因といくつかの対処方法を学びました。講義のあと、園内の水生植物エリア、水中生物の研究実験棟を見学し、当地区に適応する対策を指導して戴きました。



国立科学博物館筑波実験植物園の視察

## 2) 水質浄化に取り組む他団体との交流

まちなみネットを通じて紹介された「こしがや四季の路」管理組合を訪問しました。地域内に人工の回遊式水路と池を持ち、歴史ある屋敷林との「水と緑の調和」がとれた当地区にも、水質浄化に取り組む長年のご苦労がありました。現地視察の後、討議の場を設けて戴き、多くの情報を交換することが出来ました。

- ・ 専門家のアドバイスが必要
- ・ 丁寧に情報を発信して住民の理解を得る
- ・ それぞれ状況が違うので、何度も試行錯誤を重ねる
- ・ ある程度の予算を持った中での取り組みを理解してもらう

等々のご指導を戴き、時間をかけ対策を練っていくことが、理想のビオトープに繋がると感じました。



「こしがや四季の路」管理組合訪問

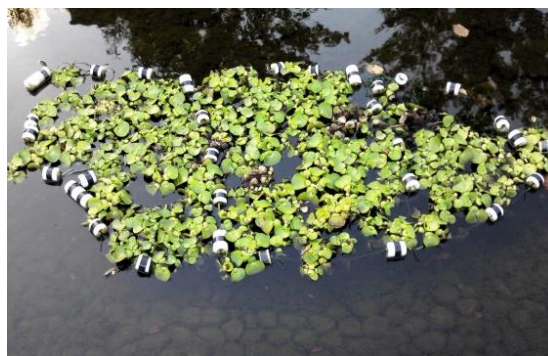


回遊式水路と池の見学

## 3) 実施に向けて

本年度までは、勉強会として学術的講義と対策実施例の見学を行ってきましたが、次年度は工作物の設置や植物、水中生物の投入等の試みをしていきたいと思っています。このことを前提に小規模な対応策を試みました。

- ・ 池に水草を浮かべ、増殖の程度と水面下の汚れを観察
- ・ 水路をいくつかのブロックに分け、砂利や砂による滞留部を造り、ろ過の効果を観察



水生植物による水質浄化試験（トカガミ等）

## 2. 緑化維持対策

当地区は宅地造成から20年が経過しており、改めて街路樹や公園内の樹木に目を向けると相当数の樹木が枯れ始めている事が判明。歩車道を分離し景観上も大切な街路樹の立ち枯れに対しては早急に対策を講じる必要が生じています。

### 1) 街路樹の植え替え

今年度は試験的に4本の枯れた街路樹を抽出し、残存する根の撤去や土質の確認、付帯工作物の撤去復旧、そして新たな植栽にいくらか費用がかかるか専門業者に見積もりを取り、作業の難易度を確認するためにも、業者に発注しました。

今後、自治会や阿見町に対し、枯れ木街路樹等の植え替えの要請をする時の説明や予算付けの参考資料として役立てられる事と思います。



ハナミズキの植え替え

### 2) 街路樹説明板の設置

当団地内には、バスが通る幹線道路とそれを取り巻く「四季の路」と称する準幹線道路があり、それぞれの道路には四季を彩る街路樹があります。普段何気なく通っている人々も、開花時期や紅葉時期になりますと、立ち止まり見上げる様子が見えられます。四季の路の街路樹「ハナミズキ」「ナンキンハゼ」「カツラ」がある歩道際や島津の杜と称する公園内にある「サクラ」の木のそばに説明板を設けることにより、人々に関心を持って戴き一層の樹木の大切さや管理の重要性を感じてもらえればとの思いから設置いたしました。



街路樹説明版の設置

### 3. ボランティア活動への啓発

ボランティア活動も近年は参加者の固定化が見られ、若い年代層も参加はしているものの平均年齢は確実に上がっています。多くの予算を持たない私たちの活動としては参加人員がなによりの原動力です。

#### 1) 作業帽子の製作

同じ帽子を被ることにより、活動されているボランティア間の意識高揚と帽子を被って作業している姿を見て、他の住民が気軽に要望や相談、ひいては活動への参加申し込みをしやすくする事に繋がるとの思いで製作いたしました。



作業帽子の作成・配付

#### 2) 情報発信

毎月の環境ボランティア活動のお知らせ版にも工夫をこらし、文字や文章を変え、楽しくにこやかな作業時の写真を掲載しながら、きめ細かな通信を行ってきました。

### 調査検討経費の使途

- 緑化維持、水質保全活動  
ハナミズキ植え替え
- 環境保全に関する研修、講習会、啓発活動
  1. 水の環境学習
  2. 受賞他団体との交流、情報交換
  3. 低木剪定の手入れと時期の研修
  4. 樹木説明版の設置
  5. 作業帽子の作成
- その他  
総会、事務費

# 近い将来取り組まなければならない課題について

## 1. 樹木の健康調査と計画的植樹の提言

樹木の平均年齢は50年とも言われ、当地区の街路樹、公園樹木も造成時からみると20年が経過しました。風雪に耐え、土壌の悪さにも持ちこたえ今日まで来ましたが、枯れ木の本数が目立つようになりました。特に近年は、東日本大震災による原発事故の影響から、除染作業の一環として行政による樹木の強剪定が行われました。私たち住民の放射能汚染からの恐怖感は軽減されましたが、植物の生態からみると非常に厳しい試練にさらされたようです。

地区内の樹木も、ここに来て高木類が急に元気がなくなって来たようにも見え、早期に対応策を構築していかなければなりません。

- ・ 地区内の街路樹、公園内樹木の台帳整備
- ・ 樹木医による健康診断と処置する優先順位（委託作業）
- ・ 造園業者による植栽計画と費用算出（委託作業）
- ・ 作製された計画書をもとに自治会及び町への説明
- ・ 南平台自治会、阿見町からの費用の捻出を訴えて行く